

鶏肉情勢

令和3年5月14日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
供給	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和3年3月下旬実施)によると3月の推計実績は処理羽数63,841千羽(前年比103.2%)・処理重量192.9千ト(同104.3%)となり、2月の推計実績である処理羽数96.2%、処理羽数97.7%に比べ、増加した。季節需給を反映した出荷動向とも捉えられるが3月の推計実績は現時点で処理羽数は前月時点の予測である104.4%から、下方修正され、処理重量は103.8%から、わずかに上方修正された。 (2) 4月以降は処理羽数・重量共に1~2%程度の伸びがある見通しで安定的な供給が見込まれている。2021年度の主要産地の出荷計画は4月101.2%、5月103.4%、6月102.3%の見込みで出荷動向についても堅調な動きが見込まれる。産地での生産は温暖な気候となっており、鳥インフルエンザのリスクも薄れる時期を迎え、順調な育成となっている。鶏肉消費も緊急事態宣言の発令もあり、飲食店等の外食やイベント需要の落ち込みも懸念されるが内食需要は堅調な動きとなり、国産チキンの消費は底堅いと推測される。供給が順調な中でGW明け以降に需給が緩むことも一部、懸念する声も聞かれる。
	2. 輸入 (1) 財務省4月28日公表の貿易統計によると2021年3月の鶏肉(原料肉)の輸入量は55.6千トで前年同月の輸入量(46.7千ト)を上回った。直前の日本食肉輸出入協会の予測47.3千トを大きく上回った。通関の前倒しの影響等が輸入量の増加要因としてあげられるが輸入量の上回りについての要因としては定かではない。商社等から、3月の在庫状況が大きく増加したとの声も聞こえないが内容としてはタイからの輸入量が増加しており、GWを控えての需要増への対応が考えられる。今年1月~3月の鶏肉原料肉の累計輸入量は約15万トンとなり、前年同期と比べ113.3%と輸入量が増加していることが伺える。 (2) 鶏肉調整品の3月の輸入量は43.9千トと前年同月と比べ、102.8%で推移している。今年1月~3月の鶏肉調整品の累計輸入量は約11万トンとなり、前年同期と比べ98.1%と原料肉と比較すると輸入量は比較的少ない。
需要	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、令和3年2月は、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)数量は4,118g(前年比102.2%)、金額も6,111円(同102.6%)と、ともに前年を上回った。鶏肉についても同様で、2月に入ってもテーブルミート等での購入が活発で数量(同101.9%)・金額(同103.7%)とも前年を上回った。また加工品については加工肉全般で金額は1,344円(同102.6%)と前年を上回っている。豚肉も一部部位では安価で量販店に並んでいることもあり、鶏肉の消費が今後どうなるかは不透明な部分もある。
	2. 量販・卸 (1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、令和3年3月の食品売上高は全店ベースで前年比96.3%と昨年度を下回った。一方で生鮮3部門の売上高も全店ベースで前年比97.9%、既存店ベースでも同97.5%と下回った。畜産部門の売上高は1,126億円で全店ベース(同95.1%)、既存店ベース(同94.7%)とも前年を下回った。「自宅調理傾向は継続しているものの、前年に保存性の高い畜産品の需要が急増した反動を受けた。豚肉や鶏肉は国産相場が上昇しており、輸入品を拡販する動きもみられたが、特に挽肉で前年との反動が大きかった。牛肉は味付け肉に反動が大きいと和牛を安価に販売できた店舗では好調となった。ハムなど加工肉は前年からの反動減が顕著にみられる」と報告された。また総菜部門の売上高は全店ベース(同104%)は前年を上回り、既存店ベース(同103.4%)でも上回った。「前年は内食の急伸や通勤客の減少、バラ売り中止の影響で伸び悩んだが、中食ニーズには回復傾向もみられており、サラダ関連や自宅で調理しにくい商品群、寿司類や揚げ物、天ぷらなど好調に推移した。「家飲み」向けの焼鳥やつまみ類も引き続き堅調。米飯類は客数動向により好不調まちまちとなった。イベントや花見は自粛が続き、オードブルは依然として不振である」と報告があった。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる令和3年2月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比98.9%の4.072千トとなった。うち国内物は同93.3%の3.28千トと下回り、輸入物は同131.9%の0.79千トと上回った。鶏肉加工品も一時的に減少はしたものの依然として引続き家庭内需要や中食需要があり、国産原料の市況価格は高止まりしているが、中国等からの調整品輸入が減少していることを考えると国産物での製造量回復が期待できると思われる。また、量販店では大豆ミートを使用した加工品を売り場展開している店舗が増え、サラダチキン等の商品スペースが少し狭まっているような印象も受ける。
在庫	1. 令和3年(2021年3月) (1) 推計期末在庫は国産28.8千ト(前年比92.5%・前月差+2.3千ト)、輸入品135千ト(同96.9%・同+5.5千ト)と合計で163.8千ト(同96.1%・同+7.8千ト)となった。出回り量は国産142.5千ト(前年比104.1%・前月差+13.7千ト)、輸入品42千ト(同92.7%・同△2.6千ト)と合計で184.4千ト(同101.3%・同+11千ト)となった。
	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(令和3年4月27日公表)では、令和3年3月の国内生産量が約143.7千トで前月比で1.5千ト増加し、輸入量は約47.3千ト前月比で約2.5千ト減少、出回り量については前月比で約11.8千ト増加するため期末在庫は約158.3千トと前月より約1.1千ト増加はするが、前年(169.3千ト)より約7.1%減少の見通しとなっている。鶏肉生産量の約9割を占めるブロイラーの生産動向が大きく影響し、4月は前年同月をわずかに下回る見込みであるが3~5月の平均としては前年同期をわずかに上回る見込み。輸入量は4月はタイ、アメリカからの輸入量は増えるもののブラジルからの輸入量が減少すると見込まれているため、やや下回る。3~5月の平均としては流通の遅延等もなかったことから、前年同期をかなりの程度上回る見込み。
相場	1. 令和3年4月動向 (1) 令和3年4月の月平均相場は、もも肉678円/kg(前月比△13円)・むね肉305円/kg(同+1円)正肉合計で983円/2kgと前月比で12円下回るも、前年比では161円上回った。もも肉は月初684円で始まり、上げ下げを繰り返す、中旬には△8円の下げもあり、月末669円と15円安となった。1月をピークに徐々に下げ基調となっている。むね肉も月初305円で始まり、300円台を維持しながら、月末は304円と1円安となり、少し上げ基調の兆しもあるが月平均で305円と前月並みで推移した。
	2. 見通し (1) 気象庁発表の向こう1か月の見通しによると、5月の気温は、全国的に前年よりかなり高くなるとの予報。例年は不要期間に入るが昨年同様コロナ禍が続く中、家庭で過ごす時間が多くなっていることから鶏肉原料を購入して調理する時間が増えることが考えられ、もも肉はやや下げ基調にとどまり、月平均665円と予測する。むね肉についても、加工筋からの引合いも堅調でタイ産むね肉の動向が不透明ではあるが現状の相場を維持し、月平均300円と予測する。 (2) 首都圏等で新型コロナウイルスの猛威は衰えず、緊急事態宣言が再発出されたため外食企業等、休業を余儀なくされる企業もあり、鶏肉生鮮相場は若干、需給が緩むが、内食需要に支えられ、例年よりも高水準での推移が見込まれる。

生産状況 単位:千羽、千トン、%

	R3年3月推計実績		R3年4月計画		R3年5月計画		R3年6月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	65,035	105.0%	65,264	102.9%	62,528	100.0%	60,580	101.3%
処理羽数	63,841	103.2%	62,597	101.1%	61,195	102.5%	60,584	100.9%
処理重量	192.9	104.3%	187.0	100.8%	183.0	102.2%	180.4	101.6%

※参考資料: 全国食鳥新聞発行「PMN」

輸入動向 単位:千トン、%

品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R2年12月	42.7	44.9	95.1	44.1	46.9	94.1	86.8	91.8	94.6	49.2	50.8
R3年1月	48.9	41.6	117.6	33.7	39.3	85.7	82.6	80.9	102.1	59.2	40.8
R3年2月	45.5	43.9	103.6	34.2	31.9	107.1	79.7	75.8	105.1	57.1	42.9
R3年3月	55.6	46.7	119.1	43.9	42.7	102.8	99.5	89.4	111.3	55.9	44.1
R3年累計	149.8	132.2	113.3	111.8	113.9	98.2	261.6	246.1	106.3	57.3	42.7

鶏肉の消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R2年12月	1,839	1,625	113.2	1,763	1,605	109.8
R3年1月	1,582	1,358	116.5	1,469	1,309	112.2
R3年2月	1,428	1,402	101.9	1,359	1,310	103.7
R3年平均	1,505	1,380	109.1	1,414	1,310	108.0

※参考資料: 総務省統計局HP

相場(年別・暦年) 単位:円

	もも肉	むね肉	計
H26年	626	294	920
H27年	638	336	974
H28年	621	255	876
H29年	626	315	941
H30年	595	282	877
R元年	585	243	828
R2年	614	269	883

在庫状況(推定) 単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R2年12月	26.8	28.2	95.3	124.3	133.6	93.0	151.1	161.8	93.4
R3年1月	26.5	29.3	90.4	129.5	139.3	93.0	156.0	168.6	92.5
R3年2月	27.5	29.8	92.4	129.7	138.0	94.0	157.2	167.8	93.7
R3年3月	28.8	31.2	92.5	135.0	139.3	96.9	163.8	170.5	96.1

※実績参考資料: 畜産日報、農畜産業振興機構

相場(月別) 単位:円、%

品名	もも肉			むね肉			正肉合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R3年1月	711	622	114.3	314	262	119.8	1025	884	116.0
R3年2月	701	597	117.4	305	253	120.6	1006	850	118.4
R3年3月	691	575	120.2	304	243	125.1	995	818	121.6
R3年4月	678	581	116.7	305	241	126.6	983	822	119.6
R3年5月	(665)	609	109.2	(300)	254	118.1	(965)	863	111.8
R3年6月	(650)	610	106.6	(300)	257	116.7	(950)	867	109.6
R3年平均	695	610	114.0	307	258	119.0	1,002	868	115.5

※()は見通し

※1~4月平均